

「日米関係の現状と課題」

神田キャンパスで「外交講座」

重要な「裏方」が語る 「日本外交のポイント」



▲ 講演する伊原局長

外務省北米局長迎え講演会

最新の国際情勢や外交問題への理解を深める「外交講座」が、7月12日、神田キャンパスで開かれた。講師は外務省北米局長

行は広瀬崇子法学部教授が務め、学生ら121人が聴講した。伊原局長はまず、外務省における北米局の仕事概要を説明。現在重要な課題とされる「日米関係」「対アジア外交」を軸に、



▲ 質問も活発に

普天間基地移設問題の経緯や今後の展望、日本をめぐめる南西諸島の安全保障環境について担当者の視点で解説した。また、伊原局長が同行した野田首相とオバマ大統領の日米首脳会談について、「課題解決に終始せず中長期的視野で今後

率を低下した。加えて戦後六十数年で身長は男女共に十数センチ伸び、平均寿命は同じく30年以上も伸びたことをデータで示した。さらに、厚労省・農水省が提案し、川崎市が取り組んでいる食事バランスガイドを紹介。一人ひとりが食事の量とバランスについて学び、健康の維持に努めることが大切だと語った。

「食と健康」をテーマに自然科学研究所の第15回公開講演会が7月14日、生田キャンパスで約130人が参加して開催され、吉田治弘法学部教授(生物科学)をはじめ3人が講演した。第43回日本比較臨床医学会の特別講演として企画された。吉田教授の演題は「食と健康の基礎、日本人の食生活と体格・寿命の推移」。

日本の「食と健康」 吉田治弘教授らが熱弁

第二次世界大戦後の国民健康・栄養調査に基づき日本人の食生活は改善され、結核・脳卒中・胃がん・心疾患による死亡

兵頭勲元東京都畜産試験場・場長は「高品質豚POKONの開発から、豚の生産効率の育種が肉質・食味に与える影響」というテーマで講演。東京都の養豚農家の経営を改善するために、北京黒豚を土台にした新品種の育成が行われているが、その苦労話やおいしい豚肉作りのための餌と肉質について解説した。

また、豚肉の脂肪は不飽和脂肪酸で健康に良いことを紹介。安全・安心な豚肉を作るために抗生物質、抗菌剤の使用を制限した飼育マニュアルを作成し、高級ブランドの豚肉になる豚が年間に9千頭生産されていることを、写真を示しながら語った。浜名克己鹿児島大学名誉教授の講演は「安全で安心な牛乳を求めて。農家と獣医師の取り組み」と題し、

「私たちのアイデアが商品になった」。川崎市多摩区生田緑地の内プラネタリウム「かわさき宙と緑の科学館(川崎市青少年科学館)」のリニューアルを記念し、前川明彦ゼミの3年次生がクラブビルと和菓子店を共同開発した一面に写真。5月に完成したクラブビル「Spica」は、本紙500号既報と、誕生日したばかりの和菓子

生田緑地の和菓子店「宙(SORA)」は、地元商店街の活性化や地域振興を目指す多摩区の要請に学生のアイデアを取り入れて応えたもの。8月1日、同館で開催された「お披露目会」に阿部孝夫川崎市市長、内野と、もちもち感をポイントにした。開発した商品を店頭で見ると「うれい」と喜びを表した。

「宙」は月に関係が深いイウサギを牛皮でかたどりに、中にかぼちゃの餡を入れた。高村とせき(同)は「他の商品との差別化は難しいので、見た目のかわいらしさ

7月19日、90歳で死去。1956年から在職。92年定年退職。主な担当は「哲学概論」。

自然科学研究所が公開講演会

また、豚肉の脂肪は不飽和脂肪酸で健康に良いことを紹介。安全・安心な豚肉を作るために抗生物質、抗菌剤の使用を制限した飼育マニュアルを作成し、高級ブランドの豚肉になる豚が年間に9千頭生産されていることを、写真を示しながら語った。

クラフトビール「Spica」 和菓子「宙(SORA)」

「宙(SORA)」は、地元商店街の活性化や地域振興を目指す多摩区の要請に学生のアイデアを取り入れて応えたもの。

公開講座情報

17時10分～18時40分【中級】15時30分～17時【会場】専修大学サテライト

経営者ら95人が出席

大学院商学研究科と東京信用保証協会の共同公開講座「中小企業の市場競争力」が7月28日、神田キャンパスで開催された。今回で9回目となるこの講座に

NHK C D B O O K

「宇宙」といったテーマ別に掲載。イラストを用いた図鑑的なページと、意味や例文を紹介するページの2段階構成で、楽しみながら効果的に単語が覚えられようになっている。



の齋藤正之取締役が、進出企業を例に成功のポイントを報告した。引き続き、講師の2人に小林守商学部准教授、(株)由紀精密の大坪正人常務取締役を加え、パネルディスカッションが行われた。コーディネーターの上田科長からの「勝ち残るために求められるものは」の問いに、「挑戦する姿勢」(小林准教授)、「ロスの無い体制作り」(青柳非常勤講師)、「決断力とネットワーク」(齋藤氏)、「世界を基準に自社の強みを確認」(大坪氏)と応じるなど、具体的な意見が多く出された。



英単語を身につけるには、ただ目で文字を見て暗記するだけでなく、さまざまな工夫をこらして「脳内辞書」にインプットし、それをアウトプットにつなげることが大切だと田邊祐司教授は言う。本書はその助けとなる「単語帳」だ。日常会話にもすぐに使える中学レベルの基本英単語約700を「自然」